



目次

◆支部からのお知らせ.....1	■会員数.....1
■ラムサール条約登録湿地近接風車建設から水鳥を守ろう！【投稿：日本野鳥の会山形県支部】.....1	■令和4（2022）年度第2回理事会（定例）議事録.....3
◆事務局からのお知らせなど.....1	

◆支部からのお知らせ

■ラムサール条約登録湿地近接風車建設から水鳥を守ろう！【投稿：日本野鳥の会山形県支部】

山形県鶴岡市の大山地区上池下池から2kmのところに風力発電施設建設計画があります。

各地で「いつの間にか建ってしまった風車」に無力感を覚えている支部会員も多いのではないのでしょうか。

今回は地元でいち早く反対する会が立ち上がり、野鳥の会山形県支部にも声がかかりました。

今なら間に合う！その言葉を合言葉に、年内に署名を募り、行動を起こしたく、全国の支部の皆様にもご協力をお願いします。詳しくは山形県支部 HP をご覧ください。

<https://wbsj-yamagata.jimdofree.com/>

（支部長／細谷 千鶴子）

◆事務局からのお知らせなど

■総務室より

■会員数

11月1日時点の会員数は33,441人で、先月と比べ31人減少しました。

10月の入会・退会者数（表1）をみますと、入会者数は退会者数より28人少なくなっています。

10月1日付の入会者数は111人で、前年同月の入会者数136人と比べ25人減少しました。

また、10月末日付の退会者数は139人で、前年同月の退会者数168人と比べ29人減少しました。

なお、会員の増減は入会者数と退会者数のほかに、会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活した人数によって決まります。

表1. 10月の入会・退会者数

	入会者数	退会者数
個人特別会員	8 人	10 人
総合会員（おおぞら会員）	20 人	39 人
本部型会員（青い鳥会員）	13 人	20 人
支部型会員（赤い鳥会員）	54 人	50 人
家族会員	16 人	20 人
合計	111 人	139 人
年度累計	1,212 人	※

※会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活する方がいらっしゃるため、退会者数の年度累計は、実際の退会者数とずれた数字となります。

※上記集計は速報値になります。

●都道府県および支部別会員数

野鳥誌贈呈者数を除いた数を掲載します。

表2. 都道府県別の会員数（11月1日時点）

都道府県	会員数	前月比
北海道	1,611 人	1 人
青森県	228 人	1 人
岩手県	341 人	-1 人
宮城県	529 人	1 人
秋田県	241 人	0 人
山形県	222 人	-3 人
福島県	521 人	1 人
茨城県	822 人	2 人
栃木県	768 人	-3 人
群馬県	583 人	-4 人
埼玉県	1,961 人	-4 人
千葉県	1,469 人	-4 人
東京都	4,611 人	-10 人
神奈川県	3,119 人	-5 人
新潟県	360 人	-4 人
富山県	193 人	-1 人
石川県	270 人	1 人
福井県	216 人	0 人
山梨県	250 人	-2 人
長野県	820 人	-3 人

岐阜県	479 人	3 人	宮城県支部	496 人	1 人
静岡県	1,212 人	-6 人	ふくしま	136 人	0 人
愛知県	1,554 人	6 人	郡山支部	145 人	0 人
三重県	431 人	2 人	白河支部	23 人	0 人
滋賀県	300 人	2 人	会津支部	54 人	0 人
京都府	797 人	-2 人	奥会津連合	5 人	0 人
大阪府	1,884 人	-5 人	いわき支部	87 人	-1 人
兵庫県	1,240 人	-1 人	福島県相双支部	15 人	-1 人
奈良県	480 人	1 人	南相馬	19 人	3 人
和歌山県	209 人	0 人	茨城県	721 人	1 人
鳥取県	222 人	0 人	栃木県支部	756 人	-5 人
島根県	205 人	0 人	群馬	503 人	-1 人
岡山県	551 人	2 人	吾妻	45 人	0 人
広島県	574 人	5 人	埼玉	1,459 人	-4 人
山口県	328 人	-1 人	千葉県	900 人	-3 人
徳島県	325 人	0 人	東京	2,590 人	-18 人
香川県	195 人	1 人	奥多摩支部	743 人	-2 人
愛媛県	338 人	0 人	神奈川支部	2,071 人	4 人
高知県	108 人	-1 人	新潟県	271 人	-2 人
福岡県	1,187 人	-4 人	佐渡支部	34 人	-1 人
佐賀県	204 人	2 人	富山	173 人	-1 人
長崎県	213 人	0 人	石川	246 人	1 人
熊本県	356 人	2 人	福井県	214 人	0 人
大分県	216 人	2 人	長野支部	406 人	-1 人
宮崎県	232 人	1 人	軽井沢支部	158 人	-2 人
鹿児島県	332 人	-2 人	諏訪支部	229 人	0 人
沖縄県	86 人	0 人	木曾支部	20 人	0 人
海外	9 人	0 人	伊那谷支部	67 人	1 人
不明	39 人	-1 人	甲府支部	178 人	-1 人
全国	33,441 人	-31 人	富士山麓支部	54 人	0 人
			東富士	61 人	-1 人
			沼津支部	131 人	1 人
			南富士支部	219 人	0 人
			南伊豆	41 人	0 人
			静岡支部	314 人	-1 人
			遠江	363 人	0 人
			愛知県支部	1,175 人	5 人
			岐阜	460 人	2 人
			三重	371 人	1 人
			奈良支部	413 人	2 人
			和歌山県支部	215 人	0 人
			滋賀	293 人	0 人
			京都支部	738 人	-3 人
			大阪支部	1,732 人	-3 人
			ひょうご	955 人	3 人
			鳥取県支部	236 人	0 人
			島根県支部	197 人	0 人
			岡山県支部	521 人	3 人
			広島県支部	500 人	3 人
			山口県支部	300 人	-2 人
			香川県支部	155 人	1 人
			徳島県支部	348 人	0 人
			高知支部	96 人	-1 人
			愛媛	312 人	2 人

備考：不明は転居先が不明の会員を示します。

表3. 支部別の会員数（11月1日時点）

支部	会員数	前月比
オホーツク支部	237 人	1 人
根室支部	75 人	0 人
釧路支部	139 人	-1 人
十勝支部	172 人	2 人
旭川支部	76 人	-1 人
滝川支部	40 人	0 人
道北支部	26 人	0 人
江別支部	22 人	0 人
札幌支部	293 人	-1 人
小樽支部	58 人	0 人
苫小牧支部	164 人	2 人
室蘭支部	126 人	-1 人
道南檜山	67 人	0 人
青森県支部	118 人	0 人
弘前支部	112 人	1 人
秋田県支部	233 人	1 人
山形県支部	207 人	-1 人
宮古支部	69 人	-1 人
もりおか	154 人	0 人
北上支部	92 人	0 人

北九州支部	241 人	-1 人
福岡支部	528 人	1 人
筑豊支部	215 人	-2 人
筑後支部	150 人	0 人
佐賀県支部	252 人	2 人
長崎県支部	202 人	0 人
熊本県支部	348 人	2 人
大分県支部	205 人	2 人
宮崎県支部	221 人	1 人
かごしま県支部	314 人	-2 人
やんばる支部	48 人	0 人
西表支部	45 人	0 人
	28,213 人	-16 人

備考：支部別の会員数の合計は、都道府県別の会員数の合計と異なります。

これは、本部型（青い鳥）会員や支部に所属されていない個人特別会員が支部別の会員数に含まれないためです。

（総務室／三浦 岳志）

■令和4（2022）年度第2回理事会（定例）議事録

- 開催日時 令和4（2022）年9月29日（木）
午後3時05分～午後4時35分
- 開催場所 当財団会議室
東京都品川区西五反田3-9-23丸和ビル3階
- 出席者 理事現在数 6名
出席理事 6名（五十音順）
遠藤 孝一
狩野 清貴
葉山 政治
鶴見 みや古
見田 元
（以下の理事1名は、
Web会議システムでの出席）
笠原 逸子

出席監事
曾我 千文
（以下の監事1名は、
Web会議システムでの出席）
新實 豊

傍聴
（以下、1名はWeb会議システムでの出席）
瀬古 智貴（職員労働組合委員長）

事務局
五十嵐 真（総務室長）
松井 華奈（総務室員）
林山 雅子（総務室員）

（以下、6名はWeb会議システムでの出席）

田尻 浩伸（自然保護室長、兼
施設運営支援室長代理）

富岡 辰先（普及室長）

大畑 孝二（施設運営支援室長）

柵 さち子（広報室長）

景山 誠（共生推進企画室長）

渡邊 順子（総務室長代理）

- 議長 理事長 遠藤 孝一
- 議決事項
 - 第1号議案 令和4（2022）年度第2回評議員会招集の件
 - 第2号議案 令和4（2022）年度補正予算の件
 - 第3号議案 令和5（2023）年度事業計画及び予算編成方針の件
 - 第4号議案 野鳥保護区購入の件
 - 第5号議案 顧問再任の件

6 議事の経過の要領及びその結果

理事会開催にあたり、冒頭、遠藤孝一理事長から挨拶があった。また、本理事会は、Web会議システム（zoom）を利用し行う旨が述べられ、出席者が一同に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いに行っている状態になっていることが確認された。葉山政治常務理事が開会を宣言し、本理事会は定款第42条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨の報告がされた。

また、職員労働組合から1名の傍聴者が出席している旨の報告がされた。

なお、議事録署名人については、定款第44条に基づき、出席した代表理事及び監事となっており、遠藤理事長、狩野清貴副理事長、曾我千文監事及び新實豊監事が署名人となることを確認した後、遠藤理事長が議長となり、次の議案の審議に入った。

- （1）第1号議案 令和4（2022）年度第2回評議員会招集の件
五十嵐真総務室長より、定款第20条に基づき、下記の要領で臨時評議員会を招集すること、特に議決事項として、評議員長以外の評議員から1名、事務局代表として1名、外部委員2名、計4名の推薦委員会委員を選任する旨の説明があった。
 - 日時： 令和4（2022）年12月2日（金）
14：00～15：30
 - 会場： 日本野鳥の会西五反田事務所会議室
 - 目的事項：
 - 議決事項
1、評議員候補推薦委員会の委員選任の件
 - 報告事項
1、令和4(2022)年度補正予算の件
2、令和5(2023)年度事業計画及び予算編成方針の件
3、令和4(2022)年度第2回理事会の結

果の件

遠藤理事長より、議決事項1について、都合により辞任された松平宗紀氏の補欠候補として、一般社団法人霞会館理事長の鷹司尚武氏を推薦した際の評議員候補推薦委員会（2022年6月8日開催）の委員の任期について質問がされ、五十嵐総務室長より、「評議員候補推薦委員会規程」第4条第1項に「委員の任期は、推薦委員会設置の日から、委員会が提出した候補者の評議員任期が満了する日までとし、再任を妨げない」とあり、任期は現評議員の任期と同様に、2023年6月開催の定時評議員会の終結の時までであるが、次期評議員候補推薦委員の委員再任は可能であると説明がされた。

鶴見みや古理事より、評議員候補推薦委員の外部委員の選定基準について質問がされ、遠藤理事長より、当会の活動に関係のある分野において造詣が深い方をお願いしていると説明がされた。

審議を経て、議長がこの賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。

(2) 第2号議案 令和4（2022）年度補正予算の件

五十嵐総務室長より、経常収益は、当初予算に比べ5,536千円減の1,078,953千円、また経常費用は、当初予算に比べ6,150千円減の1,081,369千円、この結果、当期一般正味財産増減額は、当初予算に比べ919千円悪化し、8,127千円の減額となり、期末残高は、972,306千円となった。指定正味財産増減額は、当初予算に比べ8,180千円悪化し55,890千円の減額となった。その結果、期末残高は、1,055,520千円となり、両者を合わせた正味財産期末残高は、2,027,826千円となる2022年度補正予算について、資料に基づき説明がされた。

見田元理事より、I 一般正味財産増減の部1）経常収益（6）事業収益・物品販売事業収益の一般卸販売売上20,800千円減の要因について質問がされ、富岡辰先普及室長より、長靴の卸販売が減少傾向であり、要因の1つは長靴の流行の終息傾向であると考えられるが確定できない、今後は必要な人に確実に届けられる販売経路の検討を進めると説明がされた。また、長靴の売上に頼らない商品展開を進めていくと追加説明がされた。

審議を経て、議長がこの賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。

(3) 第3号議案 令和5（2023）年度事業計画及び予算編成方針の件

狩野副理事長より、事業計画については、ビジョン2030に基づいた展開とし、公益事業部門とそれを支えるほかの各部門との連携の強化を図り、相互の連携を高め各事業の進展を図る、特に、共生推進企画室と広報室を中心に各室の連携を強化し、事業や活動の成果を基に会員や支援者、寄付等の増加に結び付ける「支援拡大サイクル」の構築を進める内容であると資料に基づき説明がされた。また、予算については、資金収支ベースで収支均衡を目指し、会全体の会費、寄付、受託事業等の収入及び収益事業の収入額と利用可能な特定預金等の範囲内での支出とする、また、特定預金の取り崩しは計画的に行

う、加えて、四大財源（会費、寄付・特定預金、受託事業、販売事業）の収支改善と利益率向上を進めるとともに、業務の効率化・省力化を進め、さらに当会の事業全体を見直して選択と集中を行う内容である旨、資料に基づき説明がされた。

見田理事より、支出額の算定について、事業計画、達成目標、達成指標並びに原資等を明確にし、収支の適正性及び妥当性について、組織全体の視点から検討することは重要であり、ぜひ全室で会全体を考えて優先順位を検討する場を設け、確実に進めてほしいと意見が出され、遠藤理事長より、前年度と同様に前年度の事業及び決算の振り返りを丁寧に行い、全室長が出席する運営会議において検討する旨回答がされた。

審議を経て、議長がこの賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。

(4) 第4号議案 野鳥保護区購入の件

田尻浩伸自然保護室長より、当会野鳥保護区「渡邊野鳥保護区別寒辺牛湿原」に隣接するタンチョウ繁殖地の購入について、資料に基づき説明がされた。

遠藤理事長より、財源について質問がされ、田尻自然保護室長より、購入及び管理費等については、渡邊玲子氏から必要経費等も含めて、新たにご寄付をいただいていること、また、今後もタンチョウ、シマフクロウをはじめとした希少種等の保護において重要である土地については金銭的なご協力の確約をいただいていると説明がされた。

葉山常務理事より、保護区としての重要度について質問がされ、田尻自然保護室長より、2022年4月に「改正地球温暖化対策推進法」が施行され、国定公園普通地域であるこの土地は、特例措置等の対象になり、開発される可能性もあるため、当会が野鳥保護区として購入することは重要であると説明がされた。

審議を経て、議長がこの賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。

(5) 第5号議案 顧問委嘱の件

遠藤理事長より、株式会社レスポンスアビリティ代表取締役の足立直樹氏を引続き、サステナビリティや企業との連携に関するアドバイス等をいただくため、顧問として選任し委嘱したい旨、資料に基づき説明がされた。

曾我監事より、顧問との関わり方について質問がされ、遠藤理事長より、定期的に情報共有等の場は設けていないが、都度、関係案件については相談をしていると説明がされた。また、鶴見理事より、顧問料等は発生しているのかとの質問がされ、遠藤理事長より、講演等の依頼の場合は謝金を支払っているが、普段の相談等は無報酬であると回答がされた。

笠原逸子理事及び見田理事より、顧問の方とは積極的に関わっていただき、当会の運営等にご意見をいただいているかと意見が出され、遠藤理事長より、顧問との意見交換等の場の設置の検討を進める旨、説明がされた。

審議を経て、議長がこの賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。

7 報告事項

(1) 理事の職務執行状況の件

定款第28条第4項に基づき、遠藤理事長、狩野副理事長、葉山常務理事より、令和4年4月から令和4年8月までの理事の職務執行状況について、それぞれが担当する案件について、資料に基づき報告がされた。

(2) 資金運用状況の件

五十嵐総務室長より、「資金運用規程」第9条に基づき、令和4年8月31日現在の資金運用状況について、資料に基づき報告がされた。

見田理事より、特段問題のない運用であり、評価できると意見が出された。

議長は以上をもって全部の報告を終了した旨を述べ、午後4時35分閉会を宣言し解散した。

上記の議事を明らかにするために議事録を作成し、遠藤理事長、狩野副理事長及び出席監事の名において記名、押印する。

令和4(2022)年9月30日

公益財団法人日本野鳥の会

議長	代表理事	遠藤	孝一
	代表理事	狩野	清貴
	監事	曾我	千文
	監事	新實	豊
			以上

(総務室/林山 雅子)

◆支部ネット担当より

いつも支部ネット通信をご愛読いただきありがとうございます。

今号には山形県支部からのお知らせを掲載させていただきました。他の支部の皆さんも、記事掲載のご希望などありましたら、「支部ネット通信」担当までご相談ください。(shibu-soumu@wbsj.org)

また、お知らせしておりますとおり、「支部報とりまとめ便」の次回発送を12月6日に予定しております。各支部の活動チラシなども、前日の12/5必着で事務局までお送りいただければ同封することが可能です。どうぞご利用ください。

近所の公園の池に今年もカモたちが渡ってきてくれました。お帰りなさい、今年も会えたね！とうれしくなりました。

次号もどうぞよろしく願いいたします。

日本野鳥の会

支部ネット通信

2022年11月号・通巻250号

◆発行

公益財団法人日本野鳥の会 2022年11月25日

◆担当

総務室 総務グループ

五十嵐真/林山雅子/松井華奈/萩原洋平/原元奈津子

〒141-0031

東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2620

FAX : 03-5436-2635

E-mail : sibu-net@wbsj.org